

平成28年度 第2回図書館協議会

日時 平成28年11月22日(火) 午後1時15分～3時45分

会場 三和公民館

出席者 草野チエ子、郡司美枝子、川口美岐夫、關内幸介、古舘信義、
菅野栄子 (図書館協議会委員)
夏井館長、大平副館長 (いわき総合図書館)
青木館長 (三和公民館)

○三和公民館のオープンスペースについて

委員

地域の特性を知るための図書が足りない。「いわき市史」を置いた方が良い。三和地区の方にも触れてほしい。

三和の街道は、明治9年に大久保利通が平視察の際、ここを歩いて福島に抜けたといわれている。

また、三和にはタタラ製鉄の跡が残っており、小川、永井、市萱など街道沿いなどに銅場(製鉄を行ったところ)が置かれ、いわきの鉄の鉱山地帯があったことがわかる。

事務局

「いわき市史」は、公民館の事務室にあるので、オープンスペースに移したい。

事務局

三和地区の小学校で使用する副読本を現在編集、制作している。その調査の過程などで使用した資料を公開、掲示するのも良いと思う。副読本は来年3月に完成予定である。

委員

三和の公民館は地域の活動の場として良い環境が整っている。

図書を住民の皆さんから寄贈してもらおうのが良いという話が、聞こえてきたが、寄贈図書については、預かり方と取扱いが難しいように思う。

委員

三和ふれあい館で、親子のふれあい、地域の皆さんのふれあいが行われていること、お風呂があることにも驚いた。近くに柏の里もあったと思う。

お風呂やゲートボール場など、設備的には素晴らしい。利用度について疑問が残った。

委員

はじめて訪れたが、お風呂と本という組み合わせが、斬新で良いと思った。

委員

三和の案内ガイドに、商店やレストランが掲載されているが、三和には藁谷製作所という企業がある。三和にある、輝いている産業を紹介するのも良いのではないかと思う。

○図書館サービスについて

委員

雑誌の選定基準について知りたい。

事務局

雑誌は、あらゆるジャンルを網羅的に選定することを旨としている。ただし、要望が多い、総合誌や女性誌は多くのタイトルを購読している。専門分野については、数タイトルしか購読できない状況である。

委員

ビジネスコーナーの雑誌に、産学官ネットワーク協会では、グレーとしている雑誌がある。チェーンビジネスの雑誌なのだが、図書館にあって良いものかどうか疑問がある。たとえば「〇〇さんが表彰を受けました」という記事を前面に出して、煽るような内容のもの。

事務局

開館から10年目にあたることで、いろいろと見直しが必要と感じている。雑誌についても同様に見直しを図りたい。

委員

先日、平一小生のわが子が、総合図書館の見学に行って、喜んで帰ってきた。大人もバックヤードツアーなど、見学ができないものかと思う。

事務局

団体であれば、一般の方でも見学は受け付けている。どんなところを見たいのか、どんな見学がしたいのか、事前に要望を承って、見学内容を決められる。